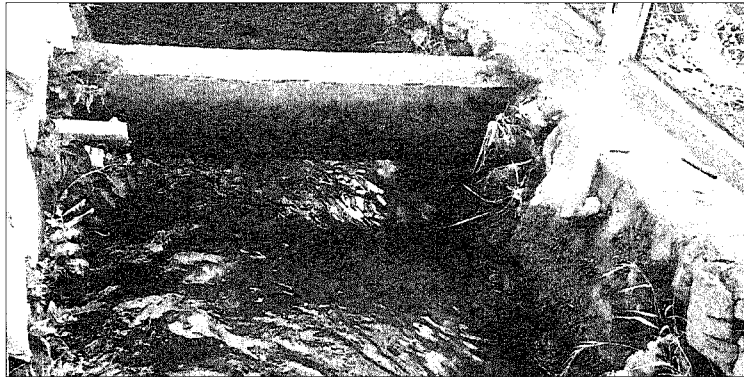


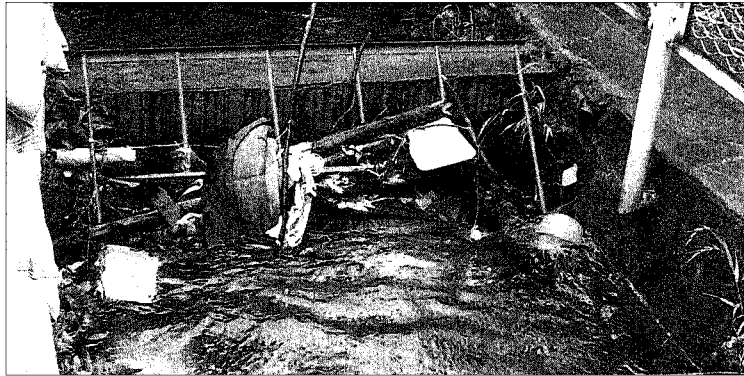
川が助けを求めている

先日、ちょっとした実験を行ってみました。川にどのような量のゴミが流されているのかを調査するため、金網を設置してみました。金網を設置して一日。さて、どのようなものが流されて来たかともうしますと、一番目についたのがスパーなどでよくみられる肉や魚の発泡スチロールのトレー、カップメンの容器、ビニール袋など自然に帰ることのない代物です。そして次に多いのが、スイカなどの生ゴミ。ま

た、「どうしてこんなものが」と思うものも流れて来ましたが、重さにして約十キロのゴミが一日に流されたことになりました。単純に計算しても年間三千六百五十キロ、四トントラック一台分のゴミの量がこの区域だけで不法に投棄されていたことになりま。わたしたちの回りを流れる川はごみ箱ではないのです。「もう少し川に対する思いやりを持っていけば、このようなゴミは流れては来ないので」と憤りを感じました。



↓ 金網を設置後、一日でこれだけの量のゴミが……



合併処理浄化槽を設置する方に対して補助金が出ます

《補助対象区域》

都市計画区域外の全部、または区域内の一部であって合併処理浄化槽を設置する方

…… 詳しいことは保健環境課までお問合せください ……

水質汚濁の原因の7割が未処理のまま排出される生活系雑排水によるものです。

市では、汚濁の一番の原因である生活系雑排水を処理して排水ができる合併処理浄化槽を設置する方に対して、補助金制度を設けています。

人槽区分	限度額
5人槽	309,000円
6~7人槽	463,000円
8~10人槽	824,000円

合併処理浄化槽とは

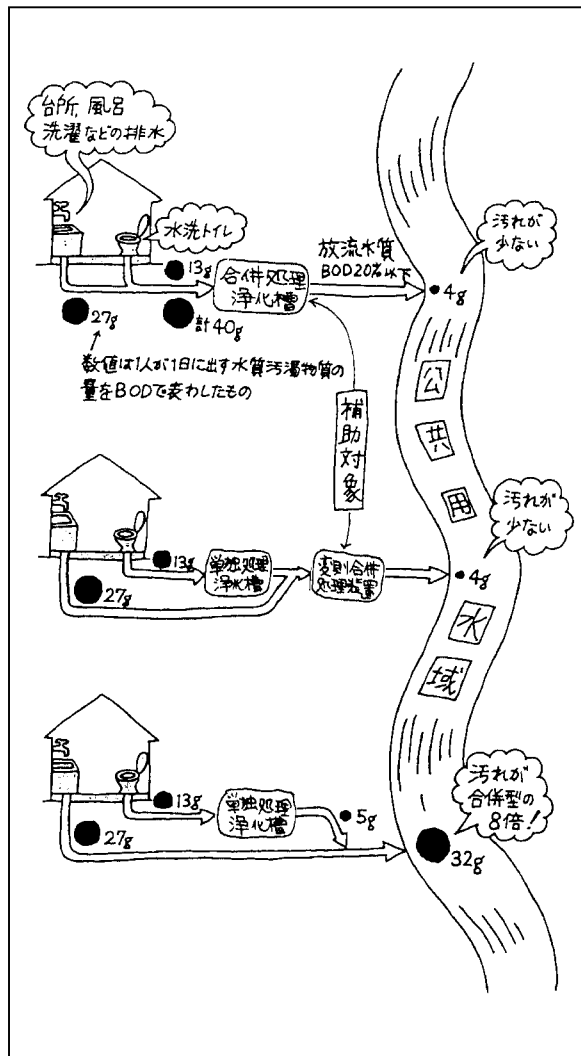
し尿だけを処理する単独処理浄化槽とちがい、し尿と生活系雑排水（台所・風呂・洗濯等の排水）を併せて処理ができる機能をもったものをいいます。

《利点》

①処理性能は水の汚れを90%以上除去することができる。

②設置費用が極めて安価（補助金が出ますので単独処理浄化槽を設置した時の費用に相当します。）

③地形の影響を受けることなくどこにでも設置でき、それに要する期間は極めて短い。



生ゴミ処理容器補助金制度

市では、家庭から出る生ゴミを自己処理できる「生ゴミ処理容器」の購入者に対し、補助金制度を設けています。

ご承知のとおり生ゴミは水分を多く含んでいるため、焼却処理に非常エネルギーを消費します。生ゴミ処理容器を利用していただくことにより、ゴミ減量が図れます。また、焼却施設への負担を防ぐことができます。お宅でも、ぜひ利用していただきゴミ減量化に協力してください。

生ゴミ処理容器の購入価格

容器の種類	標準価格	市補助金	個人負担金
地上式(130ℓ)	6,000円	3,000円	3,000円
地上式(190ℓ)	6,200円	3,000円	3,200円
地中式(170ℓ)	10,000円	5,000円	5,000円